

ERCP におけるイオパミドールの使用

- ・使用する医薬品

商品名：イオパミドール 300 注射液 一般名：イオパミドール注射液

- ・承認日

2026 年 4 月 14 日

- ・対象期間

承認日から見直しの必要性が生じるまで

- ・実施場所

血管造影室 X 線 TV 室

- ・対象

ERCP（内視鏡的逆行性胆道膵管造影）を実施する患者

- ・目的

ERCP では、胆道・膵管内へ造影剤を注入し X 線撮影を行います。これまで当院ではイオン性ヨード造影剤であるウログラフィンを使用していましたが、現在出荷停止となっており、安定供給が困難な状況です。ERCP の継続実施のため、代替薬として非イオン性ヨード造影剤であるイオパミドール注射液を使用します。イオパミドールは血管造影や CT 造影などで広く使用されている非イオン性造影剤であり、安全性が確立されています。なお、添付文書上、ERCP における胆管・膵管内投与は明確な適応として記載されていないため、本使用は適応外使用に該当します。しかし、国内外において ERCP での非イオン性ヨード造影剤の使用実績は十分にあり、医学的妥当性が認められることから、医師の判断のもと使用します。

- ・予測される不利益と対策

イオパミドール投与により、以下の有害事象が起こる可能性があります。

アレルギー反応（発疹、蕁麻疹、ショック）、血圧低下、悪心・嘔吐、造影剤関連膵炎重篤なアナフィラキシー発現時には、アドレナリン投与および救急対応を行います ERCP 施行中はバイタルサインを十分にモニタリングし、異常が認められた場合は速やかに投与を中止し適切に対応します。

- ・問い合わせ先

東埼玉総合病院 医療安全推進室 0480-40-1311（代表）